

— 躁うつ病 — 双極性障害 ～知り、気づき、支える～

現代の難渋に「双極性障害（躁うつ病）」があります。うつ病と全く同じ「うつ状態」と、気分が高ぶり眠らなくても活動でき、万能感があるといった「躁状態」が現われる病で、重いうつから発症することが多く、加えて躁が気づかれないほど軽い人がいます。そのため、うつ病と診断されたまま5年、10年と経過している人も少なくありません。特有の繰り返すうつ、長く続く病によって学業や就労が継続出来ず社会生活が困難となります。一方の支えてきた家族も疲れ果て、「病気でなく怠けている」「性格が悪い」などと思い誤り、離婚や家庭崩壊に至るケースもあります。そうした中、双極性障害を患う人の多くが依存症や摂食障害、不安障害などを併発し、自殺率はうつ病の倍近くにのぼります。

シンポジウムでは、近年ようやく知られるようになってきた「双極性障害」について、専門家や当事者の話から正しい知識と対処の仕方を学び、病む人とその家族へのおたすけを共に考えます。

期 日：立教181（平成30）年 3月25日（日）13:00～16:00（開場12:30）

会 場：陽気ホール（おやさとやかた南右第2棟4階）

定 員：300名（テーマに関心がある方）

参加費：無料

内 容：基調講演「双極性障害という病を知っていますか？」

鈴木 映二 氏（精神科医、東北医科薬科大学精神科学教室教授、

特定非営利活動法人日本双極性障害団体連合会「ノーチラス会」代表）

パネルディスカッション「双極性障害を生きる」

【パネリスト】

鈴木 映二 氏

窪田 信子 氏（「ノーチラス会」副理事長）

井上 隆文 氏（理風分教会長）

【司 会】

笹倉 雅浩（ひのきしんスクール運営委員）

下記の申込事項を明記の上、ひのきしんスクール事務局までお申し込み下さい。

申込事項

- ①シンポジウム名
- ②代表者名 / ふりがな
- ③〒 / 住所
- ④電話番号
- ⑤申し込み人数
- ⑥直属・所属教会名

申込方法

- ・Eメール
 - ・ホームページ
 - ・FAX
 - ・郵送くはがき・封書
- ※電話での申し込みはお断りしています。

お申し込み下さった方には、開催月中旬以降に「ご案内（開催日程・会場図など）」を郵送します。

※定員になり次第、受付を終了しますので予めご了承下さい。

ひのきしんスクール事務局

〒632-8501 天理市三島町1-1
TEL 0743-63-2314 FAX 0743-63-7266
Eメール h-sc@tenrikyo.jp

ひのきしんスクール

検索

携帯電話
QRコード



<http://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/>